

重大事故減少に向けた取り組み

～インシデントレポートを活用した
情報共有と運営について～



介護老人保健施設 アゼリア

介護福祉士 森田 正樹

施設R M 渡辺 徹

16-第12-O11-7

東京都昭島市 介護老人保健施設アゼリア
一般棟106床 専門棟40床 計146床



～はじめに～

- 「ご利用者の様々なリスクに対して、
早期に気付ける目」を養う。
- インシデントレポートの
報告件数アップと情報共有。
- インシデントレポート集計表の活用。
- 取り組んだ結果、事故件数減少への効果。

～目的～

- ▶ 集計表を作成し、情報収集の簡略化と集計処理。
- ▶ 他部署間を含めた共有。
- ▶ レポート作成時の業務負担減少。
- ▶ インシデントレポートの新たなルール作成。
- ▶ インシデント内容のプラン反映漏れ防止。
- ▶ 重大事故減少。



～実施期間と対象者～

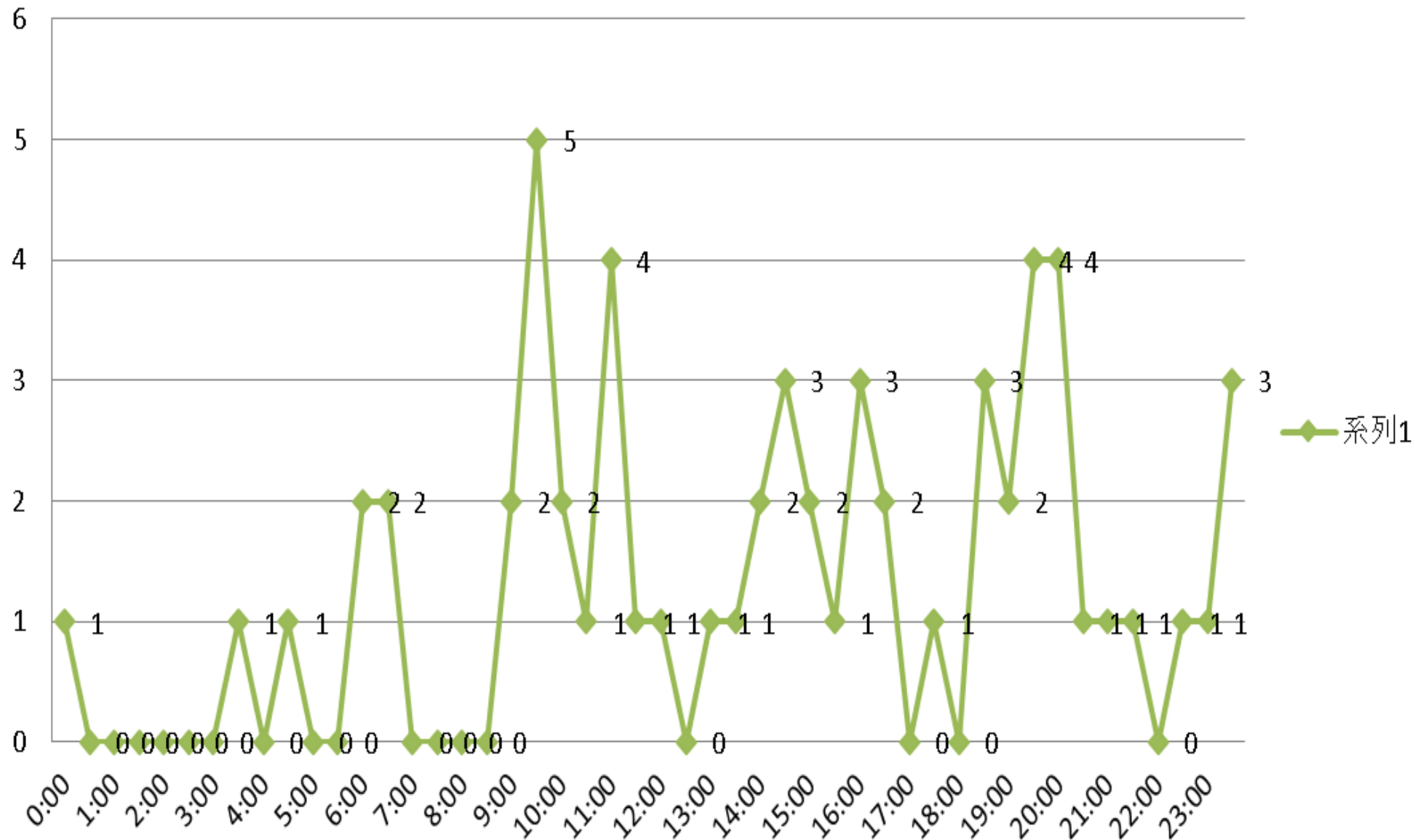
平成27年 1月より現在も継続中

短期入所者を含めた全ご利用者を対象。

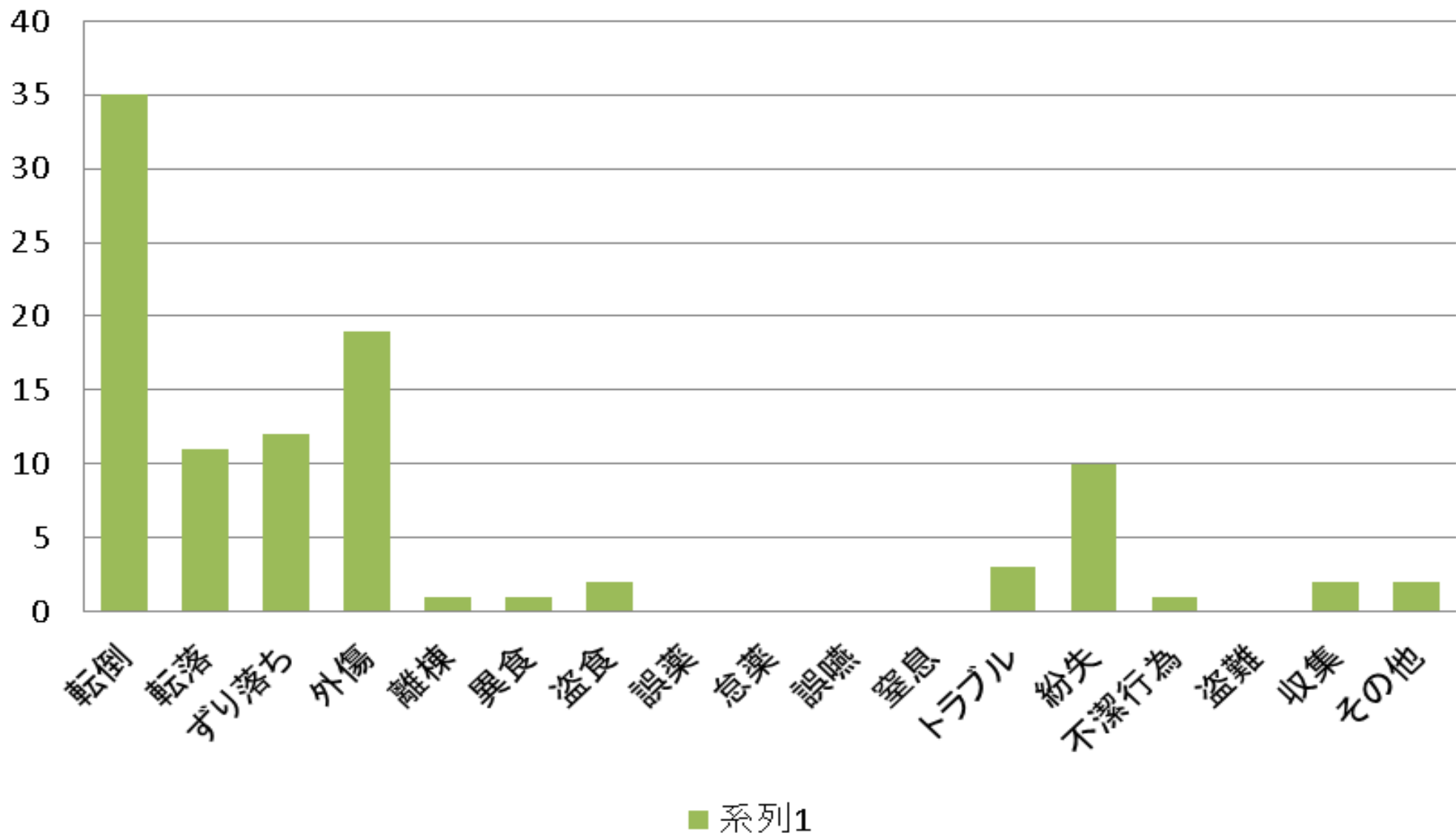
～実施方法～

- ▶ 集計表を作成し情報共有と引用簡略化を図る。
- ▶ 情報をグラフ化し分析。
- ▶ 報告時の重複する作業の解消と、それに合わせたレポート自体の改訂。
- ▶ 業務負担解消の為、報告方法の見直し。
- ▶ 事故対策を主とした委員会を介し、改定後の運用状況確認と見直し。

時間帯別インシデント発生表



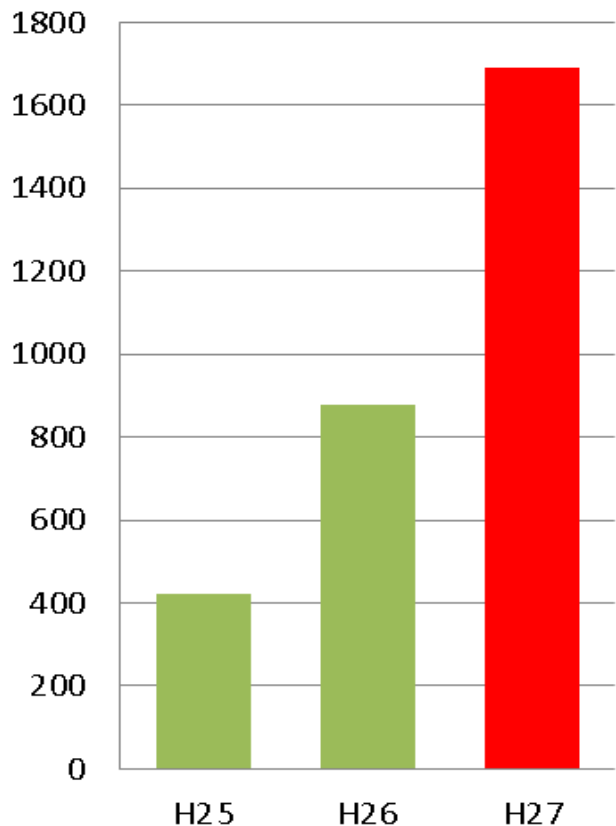
インシデント内容発生件数グラフ



改訂後のインシデントレポート

インシデント (ひやり はっと) レポート					主任	報告者
サービス区分	入所・SS・DC	フロア	F	ご利用者名	様	
発生・発見日時	平成 年 月 日 () 時 分					
発生・発見場所	居室内(号室)・トイレ内・食堂内・浴室・デイフロア・訓練室・その他 ()					
予見される事故	転倒・転落・すり落ち・外傷・腫瘍・異食・盗食・誤薬・整薬・誤嚥・窒息・その他 ()					
【インシデント発生・発見内容】 *事実に基づき記載して下さい						
<input checked="" type="checkbox"/> 療養棟記録にインシデント記録記載。						
【対応策・家族連絡】						
<input type="checkbox"/> 対応策新たに立案。療養棟記録に記載。			<input type="checkbox"/> 対応策ケアプランリスク管理内容の継続。設定不要。			
<input type="checkbox"/> 家族連絡不要 ※家族ヘリスク説明済。家族連絡する場合は療養棟記録に記載。						
<input type="checkbox"/> その他、業務手順などに関する対応策。						

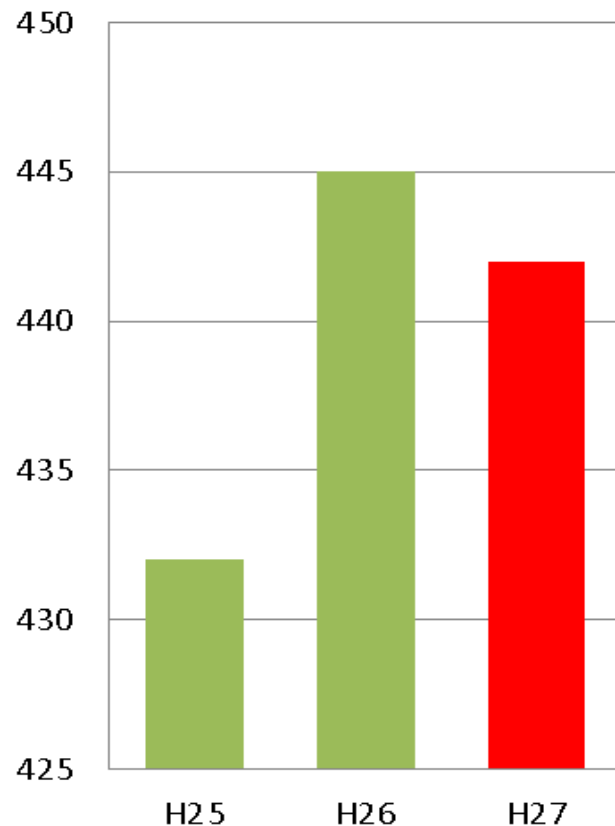
インシデント



インシデント
1689件

92.5%増加

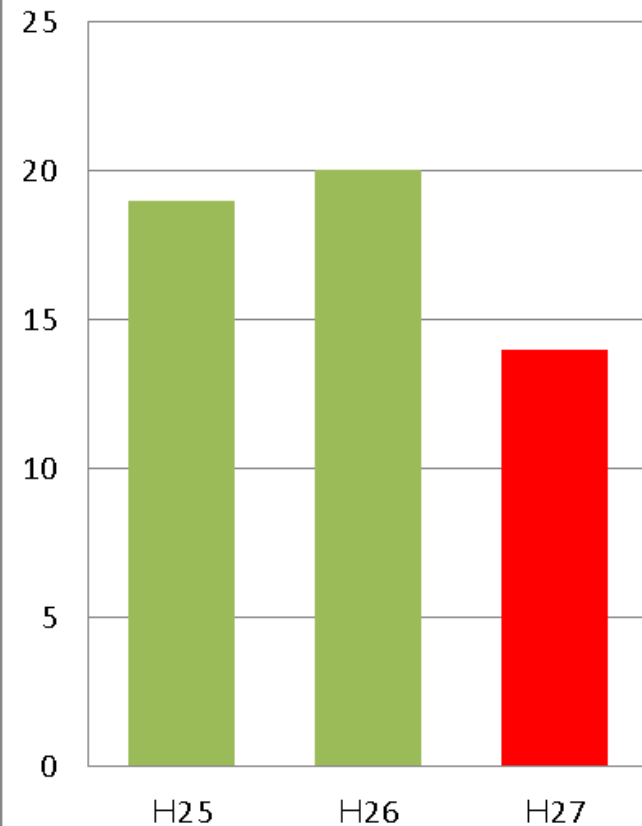
アクシデント



アクシデント
442件

2.8%減少

重大事故



重大事故
14件

30%減少

～まとめ・今後の展望～

- ・ 取り組みの結果、インシデントの報告件数の大幅な増加。
- ・ 報告件数増加に伴い、重大事故件数も減少傾向が見られる。
- ・ 業務負担減少への効果が見られ、件数から判断するに、報告に対する意識向上も見られた。

『ご利用者の様々なリスクに早期に気付ける目』はこうした取り組みや業務改訂の先にあり、それらが重大事故減少と安心して安全な施設生活を送る為の環境を作り上げていけるものと考えます。今後はより精度の高いインシデントとタイムリーなケアプラン反映と、情報を職種の垣根を越えた共有による、重大事故防止に繋がっていきたいと考えます。



ご清聴ありがとうございました。

